

気候情報

2012年10月の日本の天候

- 北日本で高温
- 東・西日本で日照時間が多かった

10月の天気概況

北日本は、月をとおして高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変化した。上旬を中心に暖かい空気に覆われることが多く、上旬の旬平均気温は10月上旬としては統計を開始した1961年以降で高い方からの1位となった（1994年とタイ記録）。このため、月平均気温もかなり高くなった。

東・西日本では、上旬から中旬にかけては、台風や低気圧の影響により広い範囲で雨となった日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、東・西日本太平洋側では月間日照時間がかなり多くなった。下旬は、北日本付近を通過した低気圧の影響などにより、天気は数日の周期で変化した。

沖縄・奄美では、中旬は台風第21号や前線の影響により曇りや雨の日が続いたが、上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

上旬：北日本では太平洋側を中心に、台風第17号、第19号や気圧の谷の影響により、曇りや雨となるなど、天気は数日の周期で変化した。東・西日本と沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、西日本太平洋側の10月上旬の旬降水量としては統計を開始した1961年以降で最も少なくなった。また、北日本は暖かい空気に覆われて気温が高い日が多く、北日本の10月上旬の旬平均気温としては統計を開始した1961年以降で高い方からの1位となった。

中旬：北日本では北海道を中心に短い周期で気圧の谷の影響を受け、曇りや雨の日が多かったが、東北地方から東・西日本にかけては旬の前半を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。17日から19日にかけては、台風第21号の影響により全国的に雨となり、東日本から沖縄・奄美にかけては大雨となった所があった。沖縄・奄美では、旬の終わり以外は、前線や台風の影響により、曇りや雨の日が続いた。

下旬：北日本から西日本にかけては、高気圧と低気圧の影響を交互に受け、天気は数日の周期で変わった。沖縄・奄美では、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。23日と28日は日本海から北海道付近を通過し

た低気圧の影響により全国的に雨となり、大雨となった所があった。

10月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高く、東日本で高かった。北日本で平年を1°C以上上回った。一方、沖縄・奄美では低かった。西日本では平年並だった。

月降水量：沖縄・奄美で少なかった。一方、北日本太平洋側、東日本日本海側で多かった。北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本では平年並だった。

月間日照時間：東・西日本太平洋側でかなり多く、東・西日本日本海側で多かった。北日本、沖縄・奄美では平年並だった。

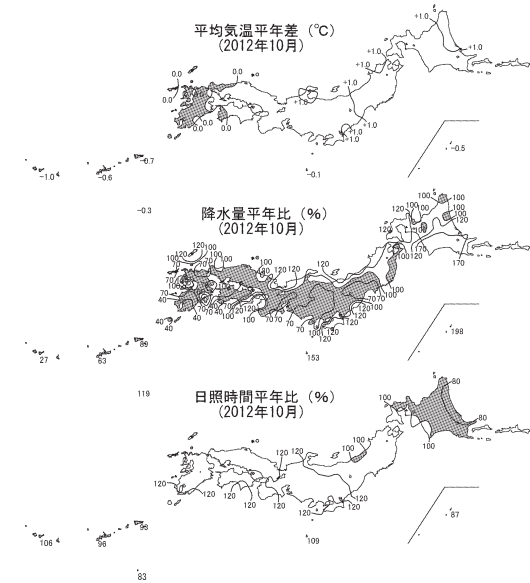
(気象庁観測部情報管理室)

10月の記録（1位更新のみ）

・月平均気温高い方から（°C）

釧路 12.4 広尾 12.6 むつ 13.9

2012年10月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。